

シビル市民講座 歴史散歩⑬

遊学の森を歩く

海外の山を荒らして安い木材を輸入するより、積極的に日本に杉やヒノキを植えて、きちんと管理したい森をつくるべき、という考え。どう思いますか。

7月21日(日) 集合 JR 武蔵五日市駅 改札口 8時50分

9時発のバスに乗りますので時間厳守。乗り遅れると次は10時42分です。
立川発 8時11分のホリデー快速が便利です。

持ち物：弁当／飲み物

服装：山に入るので長袖・長ズボン、ハイキングができる靴、帽子

参加費：1000円（シビル会員は800円） 高校生500円

案内人：福田 恵一さん（中学校社会科教員）

（案内人からの一言）

今回は多摩川の源流部のひとつである檜原村の森を歩きます。檜原村馬場の14代続く林業家の田中惣次さんは、杉・ヒノキの経済林を植林、育成、管理、伐採する一方で、「遊学の森」というさまざまな森を作って、森林や林業について考えるとりくみを行っています。

杉、ヒノキの植えすぎで管理もされずに山が荒れ、土砂災害を誘発し、花粉症の原因になる、と最近日本では評判の悪い杉・ヒノキ林です。その一方で広葉樹のブナ林を見直す動きもあります。しかし田中さんは、「日本人がこれからも木材を使おうというなら、

海外の山を荒らして安い外国産材を輸入するのではなく、日本に積極的に杉・ヒノキを植えてきちんと管理したい森をつくるのが大切。広葉樹の森も人間が手を入れなければ森林機能（水源涵養、災害防止、生物多様性の保全…）をはたすことができるよい森にならない。」と言われます。

田中さんの「遊学の森」では、いろいろな年数の経った杉・ヒノキ林、手入れされた広葉樹林、わざと手入れしない広葉樹林などが配置されています。それぞれの森を田中さんの解説で見学します。林業体験はしませんが、山に入るのので、服装は長袖・長ズボン、ハイキングのできる靴で参加してください。



歴史散歩－遊学の森を歩く 申し込み書

2013年7月21日(日)

氏名

住所

電話(連絡のつく番号をお願いします)

(会員・一般)

領収証

様

¥

シビル歴史散歩－遊学の森
を歩く 参加費として

____月____日 扱い____